

高齢者の諸活動が地域の維持に与える効果

背景と目的

- 健康寿命の延伸に伴って、高齢者が知識や経験を活かして社会貢献的な活動に取り組むようになってきています。
- 高齢者が活動の担い手になることは、地域の維持に欠かせないだけでなく、高齢者自身の生きがいや幸福感にもつながる可能性があります。
- 本研究では、地域における高齢者の役割を把握し、活動による効果を分析することで活動を持続するための要素を明らかにすることを目的とします(図1)。

成果

A. 高齢者が地域で取り組む諸活動の実態

- 都市部のモデルとして旭川市、農村部のモデルとして富良野市を選定し、65歳以上の高齢者を対象にアンケート調査を実施しました。
- 都市部では「高齢者支援」や「地域内交流」が主な活動であることがわかりました。
- 農村部では、以上の活動に加え「インフラ・施設の維持」や「産業維持」の面でも地域の維持に寄与していることがわかりました(図2)。

B. 活動がもたらす効果の分析

- 活動満足度と主観的幸福感の関係を分析した結果、「活動に満足している人」は、「活動に満足していない人」や「活動をしていない人」と比較して主観的幸福感が高いことがわかりました。(図3)

C. 活動を持続するための要素の検討

- 「活動に満足している人」の方が「活動に満足していない人」よりも活動継続に前向きな人の割合が多いことがわかりました(図4)。
- 活動満足度が活動を持続するための重要な要素であることがわかりました。
- 今後は、活動満足度の向上に向けた仕組みづくりなどの検討が必要であると考えられます。

成果の活用

本研究の成果は、市町村等において高齢者を始めとする住民が主体となった地域づくりを推進する際の基礎的知見として活用されます。

1. 高齢者が地域で取り組む諸活動の実態把握

- アンケート調査による活動内容の把握
- 高齢者が地域で担う役割の整理

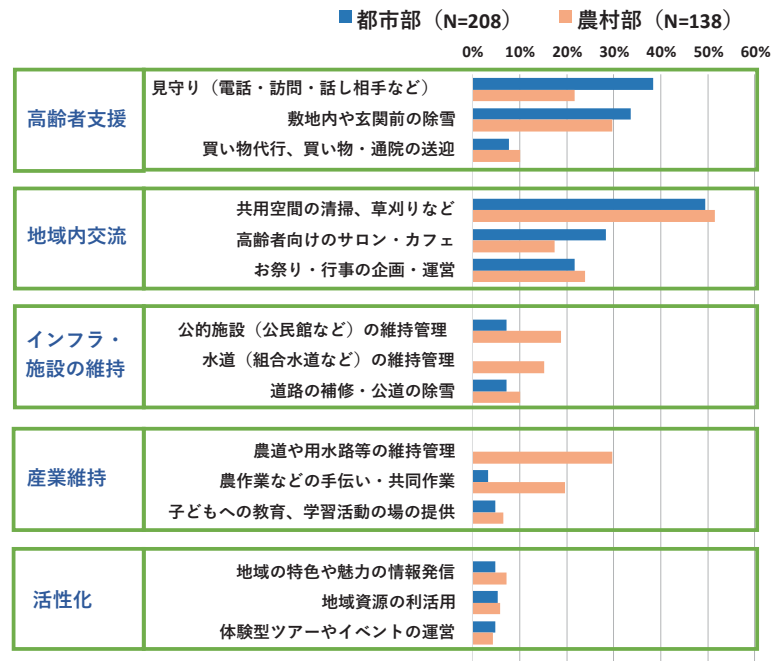
2. 活動がもたらす効果の分析

- 活動のやりがい、活動満足度および主観的幸福感などの視点による活動がもたらす効果の分析

3. 活動を持続するための要素の検討

- 活動継続意向の分析

図1 研究フロー



※N: 何らかの活動をしている人数, 複数選択可
※各カテゴリー代表的なもの3つ表示

図2 都市部・農村部における活動の特徴

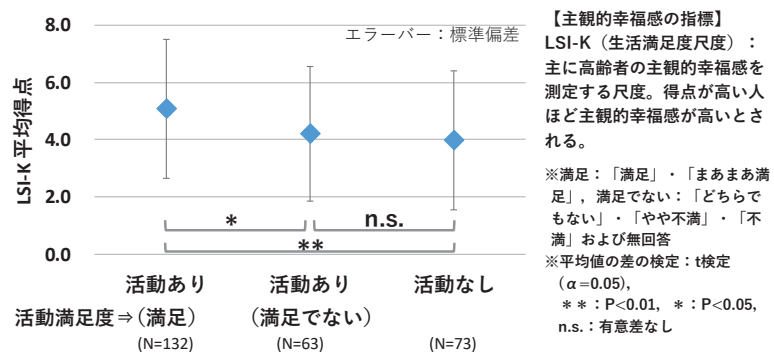


図3 活動満足度と主観的幸福感の関係

(都市部の結果を示す。農村部でも同様の傾向)

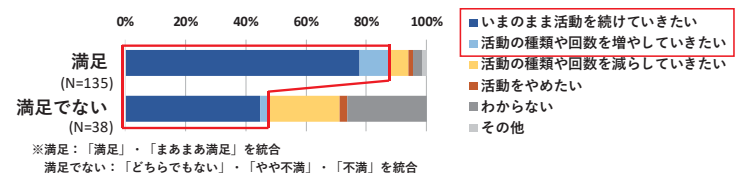


図4 活動満足度と活動継続意向の関係

(都市部の結果を示す。農村部でも同様の傾向)